阿弥陀如来 黄金の色

三田の光円寺 有田焼の技法で制作

有田焼の技法で制作された仏画の陶彩画「阿弥陀如来」が、三田市西野上の光円寺でまつられている。陶彩画家の草場一寿氏(51)＝佐賀県武雄市在住＝の制作。大きさは縦1・2メートル、横0・68メートルで存在感があり、参拝者の目を引きそうだ。

有田焼の陶彩画「阿弥陀如来」と野村豊紀住職＝三田市西野上の光円寺

寺は平安時代後期の天慶4(941)年の創建。野村豊紀住職(70)が九州旅行した際、有田焼で観音像などを制作している草場氏の工房を知った。見学してすっかり気に入り、昨年秋、本尊の阿弥陀如来立像の陶彩画の制作を依頼した。

陶彩画は陶板に様々なうわぐすりを塗り重ね、何度も焼成を繰り返して仕上げる。草場氏は優しい顔立ちの阿弥陀如来像（高さ約90センチ）から発する3千本の後光を、純金を溶かして発色させた黄金色で表現。衣装には有田焼の特徴の一つとされる吉祥文様を入れた。

立案から1年かかった大作で、今年10月末に完成。今月13日に開眼供養があった。草場氏は「阿弥陀さんは今の時代の美意識を採り入れたやさしい顔にした。1千年から2千年は色があせない」。陶彩画は厨子をつくって庫裏に置くことにしており、野村住職は「寺宝として参拝者に見てもらいたい」と話している。

（伊藤武）

「画期的だ」評価

石綿団交権最高裁決定 退職者ら笑顔

業務中に扱ったアスベスト（石綿）による健康被害の補償を巡り、すでに退職した元社員にも会社側との団体交渉権が認められることになった。住友ゴム工業に退職者との団交を求めている原告の労働組合「ひょうごユニオン」は16日、最高裁決定を受けて記者会見し、「画期的だ」と高く評価した。

退職者の団交権を巡っては、大阪高裁が一昨年、「団交申し入れが雇用関係終了後の合理的と言える期

三田

神戸市認可
霊碑で供養する新しいお墓
神戸善光寺
永代供養 納骨塔
一霊30万円（募集数2000霊）
永代供養、霊碑製作、彫刻費込み
宗旨・宗派は問いません
神戸善光寺 検索
www.kobe-zenkoji.jp/
TEL 078-851-0400
神戸市灘区桜ヶ丘町1番3号

神戸総局
神戸市中央区
浪花町60
☎ 078(331)4144
fax 078(331)4149
mail:kobe
@asahi.com
三田支局
☎ 079(562)5361
fax 079(563)4660
篠山支局
☎ 079(552)7180
阪神支局
西宮市与古道町1-1
☎ 0798(33)5151
fax 0798(35)2070
明石支局
☎ 078(912)0346
購読のお申し込みは
0120-33-0843
(7:00～21:00)
購読・配達のご用は
神　戸078(321)1870
(10:00～17:00
＝日・祝除く)
三　田079(563)2352
広告のご用は
神　戸078(335)1321
折り込み広告は
神　戸078(842)6380